
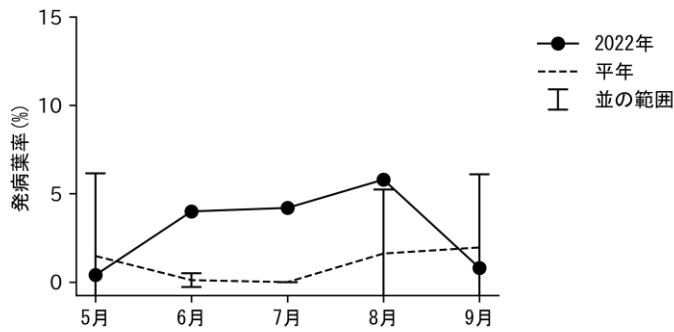


作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	うどんこ病		
調査結果	9 月の発生量 (平年比)	並	
予 報	9 月からの増減傾向	—	
		10 月の発生量 (平年比)	—
予報の根拠			

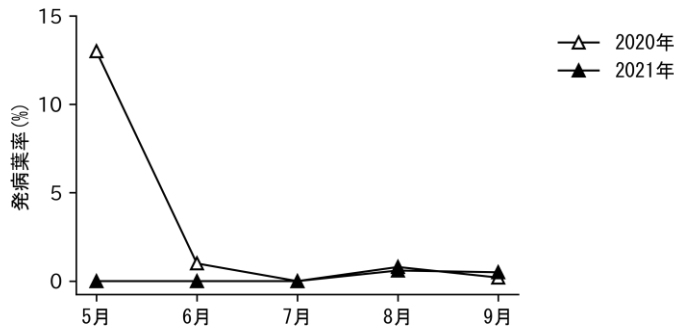
調査結果

発病葉率の推移

<今期と平年>




<過去2年>



・発生ほ場率20.0% (平年 : 29.5%)

防除のポイント

- ・下位の罹病葉や残葉は速やかに除去し、風通しを良くする。
- ・窒素過多にならないようにする。
- ・草勢を維持し、適切な施肥管理を行う。

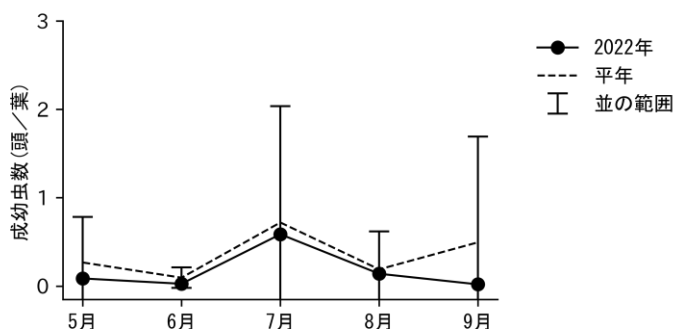
作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	アブラムシ類		
調査結果	9 月の発生量 (平年比)	並	
予報	9 月からの増減傾向	—	
	10 月の発生量 (平年比)	—	

予報の根拠

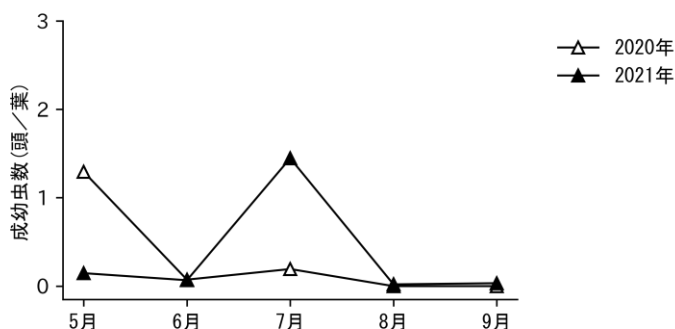
調査結果

成幼虫数の推移

<今期と平年>




<過去2年>



・発生ほ場率40.0% (平年 : 40.9%)

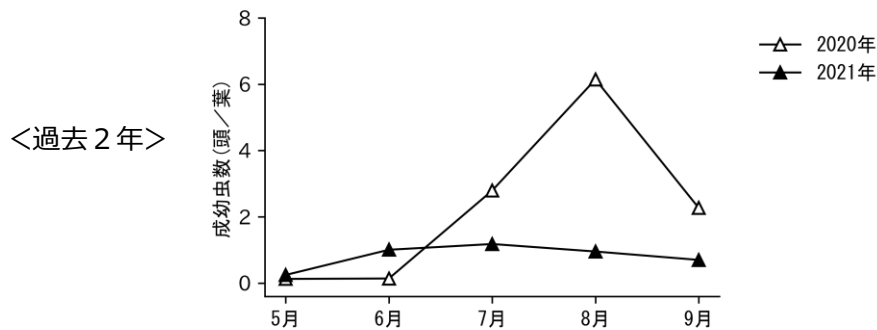
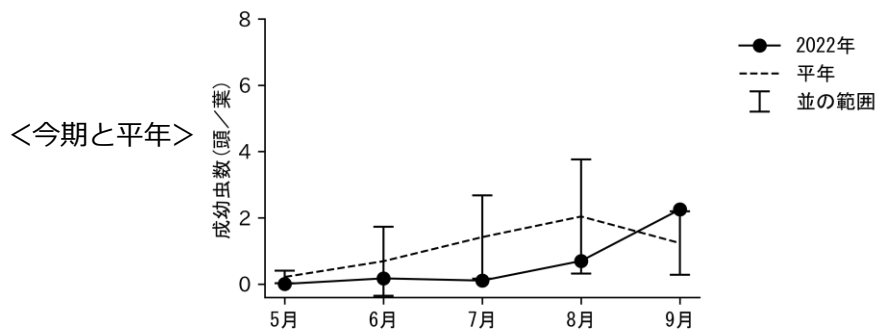
防除のポイント

- ・多発すると新葉の萎縮や芯止まりにより生長が阻害されるため、葉裏をよく観察し、早期発見・防除に努める。
- ・発生源となるほ場内外の雑草を除去する。

作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	フタテンミドリヒメヨコバイ		 <p>成虫</p>
調査結果	9 月の発生量 (平年比)	やや多	
予報	9 月からの増減傾向	—	
	10 月の発生量 (平年比)	—	
予報の根拠			

調査結果

成幼虫数の推移




・発生ほ場率80.0% (平年 : 79.5%)

防除のポイント

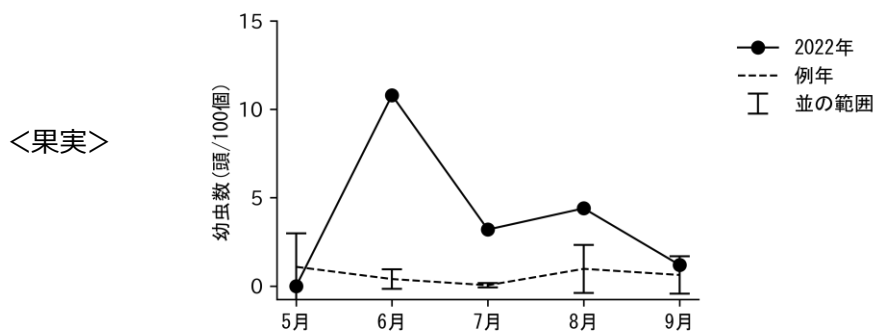
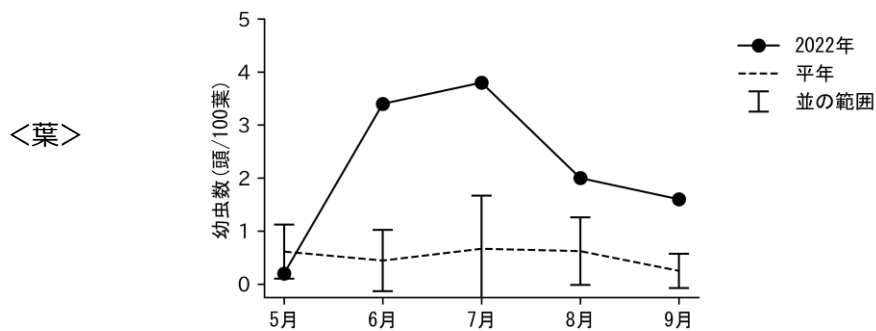
・多発すると被害葉は黄変萎縮するので、葉裏を観察し、早期発見・防除に努める。



作物	オクラ	地域	沖縄群島
病害虫名	チョウ目幼虫		 <p>ハスモンヨトウ</p>
調査結果	9 月の発生量 (平年比)	多	
予報	9 月からの増減傾向	—	
	10 月の発生量 (平年比)	—	
予報の根拠			

調査結果

幼虫数の推移 (今期と平年)



- ・発生種 : ハスモンヨトウ、ワタアカキリバ
- ・発生ほ場率40.0% (平年 : 18.2%)

防除のポイント

- ・発生密度が低い場合は、捕殺が有効である。
- ・老齢幼虫に対しては薬剤効果が低減するので、若齢幼虫による食害痕を発見したら、速やかに薬剤を散布する。

